

一般質問

阿部 君枝 議員



問

風疹予防接種の公費助成を！

答

早急に実施したい

の周知や使用できなかった方への配慮が必要であると思います。

情報管財課長

ホーム

ページなどでの周知方法も検討したいと思います。

使えなく困った方には、

使用できるようにすることも伝えるようにしていきます。

問

公共施設に障がい者等専用の駐車スペースを！

答

整備が可能な施設から対応します

再問 福祉センターは、

介助がなければ使用できないスロープで、専用駐車場もない状況ですが、改善は考えていますか。

再問

予防接種の一部公

費助成はいつ頃からを考えていますか。

すでに取り組みを始めている市町村もあり、早い時期で実施すべきです。

町長

早急に実施するよう頑張っていきます。

町長

公共施設のバリアフリーと共に駐車場の整備も必要な状況であると考えています。整備が可能な施設から対応していきます。

住民生活課長

具体的な例は聞いていませんが、現場とも十分な話をさせていただき検討します。

町長

ハートフル、バリアフリーについて、本町として取り組んでおり、今後も進めていきます。

再問

以前、本庁舎のりフトが使えないことがありました。このような時



います。

厚生労働省はワクチンの接種を呼びかけており、社会全体で感染の予防を進めることが喫緊の課題です。

今回の流行は、感染者の大半が20歳～40歳の男

問 風疹は「三日ばしか」とも呼ばれ、妊娠初期の女性が感染すると、おなかの赤ちゃんに障がいが残る可能性があります。

白内障・緑内障、心疾患、難聴のほか、精神や運動機能の発達の遅れなどがあり「先天性風疹症候群」の赤ちゃんが生まれる可能性が指摘されています。

今後、夏にかけて流行のピークを迎えるため、一日も早く予防接種の公費助成をすべきです。

町長

今年の流行の情報を考え、緊急的な措置として、妊婦の夫などに対するワクチン接種の一部助成の検討を始めています。この対応は、緊急的な措置ですが、ワクチン接種の公費助成について、

ただ
町政を質す!!

一般質問

高橋眞千子 議員



ただ 町政を質す!!

町長 遊具の老朽化に伴い、危険な遊具を撤去後

例えば、おもしろ自転車
の舗装路を使用できる
遊具や、現在1箇所しか
ないブランコやすべり台
を数箇所設置するなどの
考えはありませんか。

問 太陽の丘公園は、コスモス開花時期だけでなく、5月から6月にかけても小さな子ども連れの親子や、多くの町内外の方が訪れてくる場所になっています。

は新しく導入していませんでした。
遊具の種類、設置場所、整備期間などを速やかに検討し、新年度から整備します。

商工観光課長 遊具は、皆さんに利用していただけるように選定します。

おもしろ自転車の通路はコースの一部が壊れていて、整備して使用するには事業費など、全体を含め検討します。



問 遊具設置の考えは

答 新年度から整備する

再問 小さな子どもやお年寄り、体の不自由な方

たちの休憩室として「文化研修館」など、畳の部屋がある施設の開放とトイレを使用できるようにすることはできませんか。

町長 「文化研修館」は、有料施設となっています

ので、受益者負担の公平性の問題も生じてきます。また、施設の管理面や構造上の問題もあり、一般開放にはなじまない施設と考えます。隣接する「サンヒルハウス」は無

料施設ですので、こちらを利用していただきます。

商工観光課長 施設の有効活用ということで、有料を無料にして開放すべきというご意見については、検討します。

また、お子さんがトイレなどで利用したいときに、管理上可能かどうか

も検討します。

問 学校での災害対応の備蓄は

答 各学校での備蓄はしていない

問 町内の冬の災害として、暴風雪による大停電や猛吹雪による障害が考えられる中、集団下校や親の迎えも不可能なとき

は、子どもたちを学校に待機させる必要もあると思います。

最悪なことを想定し、各学校に、食料品や毛布などの防災用品を備蓄すべきです。

教育長 町内の小中学校

は、白滝小学校を除いた全ての小中学校が避難所として指定されていますが、独自に飲料水や食料、毛布などの備蓄はしていません。

防災は、遠軽町全体での問題でもありますので、関係部局と十分連携を図り、子どもたちの安全確保に努めます。

集団下校も危険、引率の先生も二次災害の事故が想定される場合は、学校にとどまって天候の回復を待つことも考えます。その際に必要な物資は、最も至近距離に備蓄してあるところから届けます。

一般質問

岩澤 武征 議員



問

白滝地域のハイヤー券の
使用範囲を広げるべき

答

合併時に整理されたもの

答

更新時に検討する

問

白滝地域のバスは大
き過ぎないか

問

白滝地域の住民の足
として、通学、高齢者の

問 合併前の白滝村では、障がい者の通院のためのハイヤー券が月8枚ありました。

75歳以上の高齢者には通院と買い物目的の使用で交付されていますが、住民からはもっと使いやすい制度にしてほしいという声があります。

①障がい者や高齢者の社会参加を進める上でも、障がい者は通院のみ、高齢者は通院・買い物などとなっている使用範囲を広げて、各種集会や地域の行事への参加も可能にすべきと考えます。

②町に近い人は、ハイヤー代が基本料金で利用

できますが、町の中心部から遠い人は1回に2500円かかる人もいます。同じ町に住んでいながら、遠い人の負担が大きくて老人会などの行事にも参加しない、できないという人がいます。そのような人に配慮した制度にすべきと考えます。

町長

重度身体障がい者のハイヤー券助成は、遠軽町全体の事業の取り組みとして月4枚発行しており、町全体に共通した制度です。

高齢者のハイヤー券助成は、合併協議引継ぎ事項として白滝地域に限定

した取り組みであり、75歳以上の単身世帯、夫婦とも75歳以上の世帯で町民税非課税世帯が対象です。それらの方に対して基本料金の助成券を月6枚発行しているものです。高齢者への助成券は、ほかに丸瀬布地域も別の制度がありますが、生田原地域と遠軽地域には適用がありません。

域参加への重度身体障がい者ハイヤー助成券については、先に述べた主旨から対象外になります。2点目の遠方利用者のハイヤー券助成については、地域限定の事業であり、他地域や重度身体障がい者の助成事業との整合性もあつて基本料金の助成に止めておきたいと思えます。

町長 現在のスクールバスは、平成13年度購入の26人乗りです。

バスは、学校全体の行事や社会行事と合わせて福祉バスとしても利用しています。福祉バスの最大乗客数は、今年3月8日に17人乗車しており、今後バスの更新時期の乗客数に見合う車両を検討したいと思えます。

6月分ハイヤー料金割引券

受給者名

乗車年月日 平成24年6月27日

有効期間 平成25年6月末日まで

遠軽町長

